


# 連携だより

令和2年 **11** 月号

令和2年11月1日発行

独立行政法人 国立病院機構   
**呉医療センター・中国がんセンター**  
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1  
TEL 0823-22-3816  
FAX 0823-32-3070

**URL** <https://kure.hosp.go.jp>  
**E-mail** 506-kure-renkei@mail.hosp.go.jp

 **理念**  
思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



呉医療センター正面玄関  
「風景のリズム 光・風・波のモニュメント」ブルーライトアップ



## 今月号のトピックス

- 世界糖尿病デーの当院モニュメントのブルーライトアップについて  
内分泌・糖尿病内科 科長 久保田 益亘…… 1
- 消化器内視鏡検査等施行前中止薬の変更について  
内視鏡センター長 桑井 寿雄  
医長 楠 龍策…… 3

## 世界糖尿病デーの当院モニュメントのブルーライトアップについて 内分泌・糖尿病内科 科長 久保田 益亘



日本では、糖尿病の疑いが強い人は1000万人以上いるとされていますが、**そのうち、ほとんど治療を受けたことがない人が約4割もいる状態です（厚生労働省HPより）**。糖尿病を放置すると、**失明**（糖尿病はその原因の第二位）や**腎不全**（糖尿病は透析導入原因の第一位）、**下肢切断**、**脳卒中**、**心筋梗塞**などをおこす可能性が高くなります。何かしら症状が出てから治療しても、すでに合併症がかなり進行した状態である場合も多いです。

一方で、糖尿病治療は長期に継続していくことが必要不可欠です。治療の長期継続のため、未だに根強く残る糖尿病や糖尿病患者に対する偏見などを払拭することは糖尿病患者の予後の改善につながると考えられます。そのため、最新の「糖尿病治療ガイド 2020-2021」（日本糖尿病学会 編・著）は“**スティグマ (stigma)**”や“**アドボカシー (advocacy)** 活動”について言及しています。**スティグマ**とは、特定の属性に対して刻まれる「負の烙印」という意味を持ち、誤った

知識や情報が拡散することにより、対象となった者が精神的・物理的に困難な状況に陥ることを指します。糖尿病治療は近年向上し、血糖コントロールを良好に保つことで健常者と変わらない生活を送ることができるにもかかわらず、必要なサービスを受けられない、就職や昇進に影響する、などの不利益を被るケースが報告されております。日常診療においても、患者さんからそのようなケースを相談されることが多いのが実情です。特に、働き盛りの患者さんでは、受診に対する職場の理解がなかなか得られないという悩みを受けることもあります。こうした**スティグマ**を放置すると、患者が糖尿病であることを周囲に隠すようになり、結果として適切な治療の機会を失い、糖尿病やその合併症が重症化してしまう場合がでてくる恐れがあります。

そこで、糖尿病患者をとりまく**スティグマ**の重大な悪影響を改めて認識し、それを取り除くことで糖尿病であることを隠さずにいられる社会を作ることを目指していく必要があります。特定の集団や取り組みを支援する活動のことを**アドボカシー**活動といいます。市民や糖尿病患者への**アドボカシー**活動が、糖尿病に関する**スティグマ**の解消を目指す上で有用であると考えられています。

11月14日は国際連合（国連）が指定した「世界糖尿病デー」です。世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発活動が行われています。毎年、世界各国、全国各地の建造物が糖尿病啓発のシンボルカラーである**ブルー**にライトアップされ、各地で糖尿病の啓発イベントが開催されます。これまで広島県では、糖尿病対策推進会議のもと、広島城や広島駅前のエールエール、福山市の芦田川大橋、三次ワイナリー等が**ブルー**ライトアップされておりました。本年度は、呉市で初めて、2020年11月9日から11月16日まで日没後から呉医療センター正面玄関にある「風景のリズム 光・風・波のモニュメント」を**ブルー**にライトアップしていただきます。

（詳細は世界糖尿病デーHP（日本語版） <http://www.wddj.jp/index.html>）

御協力いただいた呉市医師会の先生方、院長先生はじめ病院幹部の先生方、管理課の方、呉医療センター糖尿病医療チームのスタッフに感謝申し上げます。

今後も、糖尿病診療ならびに啓発活動を通し、糖尿病に対する**スティグマ**をなくすことができるように微力ながら努めてまいりたいと考えています。



The poster features a blue circular logo with a white center, resembling a stylized 'O' or a drop. Below the logo, the text reads 'world diabetes day' in a sans-serif font, followed by '14 November' in a smaller font. At the bottom left, it says '11月14日は「世界糖尿病デー」です。' (November 14th is World Diabetes Day). On the right side, there are three lines of text in a light blue font: '「のどが渇く」' (Thirsty), '「尿がたくさん出る」' (Frequent urination), and '「体重が減る」' (Weight loss). Below these, it says 'このような症状があれば 早期に医師や医療機関に相談し 適切な検査や治療を受けましょう。' (If you have these symptoms, please consult a doctor or medical institution early for appropriate tests and treatment). At the bottom right, it says '～呉医療センター 糖尿病医療チーム～' (Ritsyo Medical Center Diabetes Care Team).

## 救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日昼間	8:30～17:15	0823-22-3111
土・日および夜間	17:15～8:30	0823-23-1020

# 消化器内視鏡検査等施行前中止薬の変更について

呉医療センター・中国がんセンター  
内視鏡センター長 桑井 寿雄  
医長 楠 龍策

内視鏡検査時の抗血栓薬休止についての消化器内視鏡学会のガイドライン変更に伴い、当院でも抗血栓薬休止基準をこれまでのものから変更いたしました。基本的に休止期間はこれまでよりも短くなり、血栓塞栓症のリスクを軽減する方針となっております。現行のシステムでご紹介いただく際に休止薬が変更となるのが胃瘻交換の時かと存じます。下記基準をご参考いただき薬剤調整をお願いいたします。なお、ワーファリン内服中の場合はお手数ですが治療前日にINR採血をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら下記まで連絡をお願いします。

**連絡先**

呉医療センター・中国がんセンター  
地域医療連携室

TEL : 0823-22-3816  
FAX : 0823-32-3070

## 胃瘻交換、造設の際の抗血栓薬の休止基準

抗血栓薬 1 剤内服の場合の基準です。2 剤以上の抗血栓薬を内服の際の休止方法は当院にご確認ください。

		血栓塞栓症高リスク	血栓塞栓症低リスク		
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン錠 タケルダ錠/キャブピリン錠 バファリン配合錠A	継続	治療3日前から中止	
	チエノピリジン	チクロピジン錠 パナルジン錠 クロピドグレル錠 プラビックス錠 エフィエント錠、OD錠 ブリリント錠	治療5日前から バイアスピリンに変更	治療5日前から中止	
	アスピリン/ チエノリジピン合剤	コンブラビン	当院にご確認ください		
	その他の抗血小板薬	シロスタゾールOD錠 プレタールOD錠 エパデールS イコサペント酸エチル ロトリガ粒状カプセル ドルナー錠 ベラプロストNa錠 オパルモン錠 リマプロストアルファデクス錠 アンブラーグ錠 サルボグレラート塩酸塩錠 ペルサンチン錠 ジピリダモール散・錠 コメリアンコーワ錠 ジラゼブ塩酸塩錠 ロコルナール錠	治療前日から中止	治療前日から中止	
	抗凝固薬	ワルファリン	ワーファリン錠 ワルファリンカリウム錠	継続（ただし当日または前日にPT-INRを測定し、3.0以上の場合は処置不可）	
		DOAC	プラザキサカプセル	当日朝から中止	当日朝から中止
			イグザレルト錠		
	エリキウス錠 リクシアナOD錠				

# 11月の時間外 研修会／勉強会



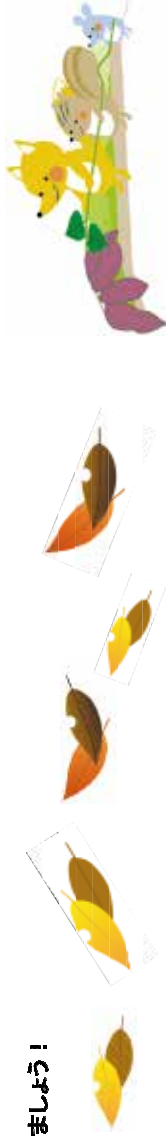
【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係 (教育企画係)  
 広島県呉市青山町3番1号 / TEL:0823-22-3111 / E-mail: [https://hure.hosp.go.jp/](mailto:https://hure.hosp.go.jp/)



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
コメディカルのお薬勉強会 「医療費に関するお金の制度について」 「よろず相談室のかかわり、実例を交えて」	11月9日 (月) 18:00～19:00	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 地域連携室 MSW 折本 陽一 相談支援室看護師 中西 貴子	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
【法定研修】第1回「感染対策・抗菌薬適正使用支援講演会」 「新型コロナウイルスの概要」 「当院での新型コロナウイルスの感染対策について」 「新型コロナウイルス感染症の知っておきたい基礎知識 — 自験例を交えて—」	11月11日 (水) 18:00～19:00	地域医療研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 救命救急センター部長 岩崎 泰昌 感染管理認定看護師 稲田 真由美 副院長 中野 喜久雄	感染対策室	院内向け	全職種
第7回 TCSEA勉強会 「心臓に良い食事とは～メタボ予防から心不全管理まで～」 「脳卒中や神経疾患における栄養管理」	11月16日 (月) 18:00～19:30	地域医療研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 循環器内科医師 市川 織絵 脳神経内科医師 杉浦 智仁	栄養管理室	院内向け	全職種
医療機器安全使用に関する研修会 「除細動器」	11月26日 (木) 17:30～19:00	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター ME管理室 久恒 一馬	ME管理室	院内向け	全職種

自己研鑽で専門性を高めましょう！



〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

地域医療連携室

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

中野 喜久雄

清水 洋祐

森下 早苗

折本 陽一

川島 美由紀

TEL: (0823) 22-3816